

2021年9月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 GMOペイメントゲートウェイ株式会社

コード番号 3769

URL <https://www.gmo-pg.com/corp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相浦 一成

問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 村松 竜（TEL）03-3464-0182

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	30,535	26.6	10,222	31.4	10,526	25.1	7,070	21.7	6,937	20.6	7,982	29.6
2020年9月期第3四半期	24,118	19.9	7,778	12.2	8,413	24.7	5,810	37.9	5,750	35.2	6,157	71.6
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2021年9月期第3四半期	93.27		91.58									
2020年9月期第3四半期	78.16		76.28									

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	213,290	55,783	53,865	25.3
2020年9月期	192,022	33,453	31,734	16.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	0.00	0.00	0.00	52.00	52.00
2021年9月期	0.00	0.00	0.00		
2021年9月期(予想)				54.00	54.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,792	20.4	12,985	25.0	12,426	13.1	8,042	4.5	7,930	4.0	107.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年9月期3Q	76,557,545株	2020年9月期	74,301,000株
2021年9月期3Q	714,950株	2020年9月期	714,781株
2021年9月期3Q	74,382,106株	2020年9月期3Q	73,577,545株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託及び株式給付信託 (J-ESOP) の所有する当社株式が含まれております (2020年9月期709,705株、2021年9月期3Q709,705株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
2. 当社は、2021年8月11日にアナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 継続企業の前提に関する注記	15
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
① 現金及び現金同等物	15
② 営業債権及びその他の債権	15
③ 関係会社預け金	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

①連結経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2020年10月1日～2021年6月30日）の業績は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	増減率 (%)
売上収益	24,118,665	30,535,072	26.6
営業利益	7,778,478	10,222,260	31.4
税引前四半期利益	8,413,985	10,526,081	25.1
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	5,750,915	6,937,696	20.6

a. 売上収益

売上収益は30,535,072千円（前年同期比26.6%増）となりました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大の影響は限定的にとどまり、キャッシュレス決済の拡大により全体としては好調に推移しました。オンライン課金分野・継続課金分野におけるEC市場の順調な成長に加え、対面分野においても当社グループのサービス提供を拡大したことにより、決済代行業業が増収となりました。金融関連事業は、後払い型の決済サービス「GMO後払い」の取扱高が引き続き伸長したことに加え、早期入金サービス等の拡大により増収となりました。決済代行業業の売上収益は22,454,331千円（前年同期比33.6%増）、金融関連事業の売上収益は7,558,425千円（前年同期比10.1%増）、決済活性化事業の売上収益は531,926千円（前年同期比18.6%増）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明 ②セグメントの業績状況」に記載しております。

品目別売上収益は、以下のとおりです。

(単位：千円)

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	増減率 (%)
イニシャル (イニシャル売上)	1,874,154	3,560,338	90.0
ストック (固定費売上)	4,231,674	4,850,707	14.6
フィー (処理料売上)	6,403,742	7,942,720	24.0
スプレッド (加盟店売上)	11,609,093	14,181,305	22.2
合計	24,118,665	30,535,072	26.6

b. 営業利益

営業利益は10,222,260千円（前年同期比31.4%増）となり、当連結会計年度の業績予想に対して順調に進捗しております。これは、売上収益が順調に伸長したことに加え、主に与信関連費用を一定水準に抑えられたこと等によるものです。

決済代行事業のセグメント利益（営業利益）は11,046,570千円（前年同期比27.7%増）となり、金融関連事業のセグメント利益（営業利益）は1,689,120千円（前年同期比26.3%増）、決済活性化事業のセグメント利益（営業利益）は86,982千円（前年同期比8.8%増）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明 ②セグメントの業績状況」に記載しております。

c. 税引前四半期利益

税引前四半期利益は10,526,081千円（前年同期比25.1%増）となり、当第3四半期連結累計期間の営業利益が前年同期比31.4%増だったのに対し、税引前四半期利益が前年同期比25.1%増となりました。これは主に前年同期は持分法による投資利益が528,794千円計上されていたことによるものです。

②セグメントの業績状況

セグメントの業績は以下のとおりです。

(単位：千円)

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	増減率 (%)
決済代行事業			
売上収益	16,809,246	22,454,331	33.6
セグメント損益(△は損失)	8,647,828	11,046,570	27.7
金融関連事業			
売上収益	6,868,145	7,558,425	10.1
セグメント損益(△は損失)	1,337,233	1,689,120	26.3
決済活性化事業			
売上収益	448,569	531,926	18.6
セグメント損益(△は損失)	79,967	86,982	8.8
調整額			
売上収益	△7,296	△9,610	—
セグメント損益(△は損失)	△2,286,550	△2,600,412	—
合計			
売上収益	24,118,665	30,535,072	26.6
セグメント損益(△は損失)	7,778,478	10,222,260	31.4

a. 決済代行業業

決済代行業業については、主にオンライン課金分野・継続課金分野と対面分野における決済代行サービス、金融機関・金融サービス事業者等に向けた支援サービスの拡大に取り組んでおります。オンライン課金分野・継続課金分野においては、EC市場の順調な成長のもと、大手から中小規模まであらゆる業態の加盟店開拓やEC以外の幅広い事業者における当社グループのサービス利用の拡大に注力いたしました。

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響は、第2四半期連結累計期間に引き続き限定的にとどまりました。オンライン課金分野・継続課金分野において、EC市場及びキャッシュレス決済の拡大により少額決済が増加、またデジタルコンテンツや公金・公共料金等の決済も増加したことから、当セグメントの決済処理件数は前年同期比39.3%増、決済処理金額は前年同期比37.2%増となりました。さらに、東京電力エナジーパートナー株式会社が推進する電気料金支払い等のデジタル化を支援する「SMS選択払い」サービスの提供を含む新規プロジェクトが第1四半期連結累計期間に開始し、当分野における売上収益の増加に貢献いたしました。

対面分野においては、感染拡大に伴う実店舗での消費減少の影響を受けやすい環境にあるものの、政府・自治体のキャッシュレス決済推進等に伴い端末販売が好調に推移し、次世代決済プラットフォーム「stera」端末の販売台数も増加したことが、イニシャル売上と当セグメントの決済処理件数・金額の拡大に繋がりました。また、注力市場である自動精算機や券売機等の無人決済市場（Unattended Market）での案件の受注も順調に進捗いたしました。

以上の結果、売上収益は22,454,331千円（前年同期比33.6%増）となり、セグメント利益（営業利益）は11,046,570千円（前年同期比27.7%増）となりました。

b. 金融関連事業

金融関連事業（マネーサービスビジネス：MSB）については、加盟店のニーズに応える入金サイクルを設定し、キャッシュ・フロー改善に資する早期入金サービスや、決済データ等を活用して成長資金を提供する加盟店向け融資サービスであるトランザクションレンディング、海外事業者に向けたレンディングサービス、送金サービス等のほか、連結子会社であるGMOペイメントサービス株式会社を通じて「GMO後払い」を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、決済サービスである「GMO後払い」は、取扱高は引き続き伸長したものの、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響を勘案し与信を保守的にしたことや前年同期における巣籠消費需要の反動等から売上収益の成長率は低下いたしました。しかし、与信関連費用を一定水準に抑えることができたことから、セグメント利益は順調に推移いたしました。早期入金サービスは決済代行業業の拡大に伴い好調に推移し、海外事業者に向けたレンディングサービスにおいては、今後安定的な収益性が見込める新たな融資先の開拓が進捗しております。また、企業間決済を支援する金融関連サービスにおいて、サービスの拡充及び金融機関との連携にも取り組みました。

以上の結果、売上収益は7,558,425千円（前年同期比10.1%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1,689,120千円（前年同期比26.3%増）となりました。

また、金融関連事業の拡大に伴い増加する運転資金や貸付金等の資金需要に充当するために2018年6月19日に発行した2023年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債が、2021年4月21日付で社債要項に定める130%コールオプション条項の条件が充足されたため、当初の予定に対し約2年前倒しとなる2021年6月18日までに普通株式への転換が完了いたしました。

さらに、今後の持続的な成長に向け、更なる資金を低コストで確保することを目的に、金融関連事業のうち、主として海外レンディング、トランザクションレンディング、早期入金サービス等のサービスの拡大に伴い増加する運転資金や貸付等の資金及び、決済及びフィンテック分野の企業のM&A戦略実行、又は投資資金（ファンドを通じた投資（自己出資分）を含む。）を資金使途とし、2021年6月22日に社債額面200億円の2026年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債を発行いたしました。

c. 決済活性化事業

決済活性化事業については、商品の売れ行きを確認しながら広告運用や分析を行い当社グループ加盟店の売上向上に繋げるマーケティング支援サービスや、医療受付現場の業務効率化に繋がる医療特化型予約管理システム「メディカル革命 byGM0」等を提供する連結子会社のGM0医療予約技術研究所株式会社のサービスを提供しております。

GM0医療予約技術研究所株式会社は、予約・問診票記入・受付・決済といった行為をスマホアプリから行えるほか、導入している複数の医療機関の診察券をスマートフォン1つに集約することができるサービスを提供しており、第2四半期連結累計期間に引き続き当第3四半期連結累計期間においても、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大による需要の高まりから当セグメントの売上収益の増加に貢献いたしました。

以上の結果、売上収益は531,926千円（前年同期比18.6%増）となり、セグメント利益（営業利益）は86,982千円（前年同期比8.8%増）となりました。

各セグメントにおいて提供する主なサービス及び会社は、以下のとおりです。

セグメント	提供する主なサービス	主な会社
決済代行業業	決済代行サービス (オンライン課金・継続課金)	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	決済代行サービス (対面)	GM0フィナンシャルゲート株式会社（連結子会社）
金融関連事業	GM0後払い	GM0ペイメントサービス株式会社（連結子会社）
	送金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	トランザクションレンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	海外レンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	早期入金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
決済活性化事業	マーケティング支援サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	メディカル革命 byGM0	GM0医療予約技術研究所株式会社（連結子会社）

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の概況

a. 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ21,268,081千円増加し、213,290,703千円となりました。これは主に現金及び現金同等物9,877,935千円、前渡金12,261,272千円が増加したことによるものです。

「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 ① 現金及び現金同等物」に記載したとおり、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物には関係会社預け金が22,930,000千円含まれており、要約四半期連結財政状態計算書上の関係会社預け金2,000,000千円と合わせると、関係会社預け金の残高は24,930,000千円となっております。これはGM0インターネットグループがグループ全体で資金運用を行うために導入しているキャッシュマネジメントシステム(以下、「CMS」という。)を利用し、手元資金を預け入れたものです。そのため、当社グループにおいて事業の進捗に伴って資金需要が増大した際には、CMSの返済期日が到来していなくても、所定の日数より前に申請することで、随時資金を引き出すことが可能です。

b. 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,062,056千円減少し、157,507,050千円となりました。これは主に社債2,757,783千円が増加した一方、預り金3,744,879千円が減少したことによるものです。

c. 資本

当第3四半期連結会計期間末における資本の残高は、前連結会計年度末に比べ22,330,137千円増加し、55,783,653千円となりました。これは主に剰余金の配当3,826,483千円により減少した一方、四半期利益7,070,315千円の計上、転換社債型新株予約権付社債の発行1,006,926千円、転換社債型新株予約権付社債の転換17,040,858千円により増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、期首残高に比べ9,877,935千円増加し、105,708,743千円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは以下のとおりです。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は9,050,713千円(前年同期は43,889,007千円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期利益10,526,081千円により資金が増加した一方、前渡金の増加12,261,272千円、預り金の減少3,750,323千円、法人所得税の支払額4,631,067千円により資金が減少したものです。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は2,696,297千円(前年同期は3,827,038千円の使用)となりました。これは主に無形資産の取得による支出1,198,103千円、関係会社預け金の預入による支出2,000,000千円により資金が減少した一方、関係会社預け金の払戻による収入5,000,000千円、その他の金融資産の売却による収入700,555千円により資金が増加したものです。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は16,155,221千円(前年同期は28,131千円の獲得)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出602,055千円、配当金の支払額3,825,963千円により資金が減少した一方、社債の発行による収入21,057,055千円により資金が増加したものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの事業が主として立脚する電子商取引（EC）市場は、物販の消費者向け（BtoC）EC市場がスマートフォンの利便性の高まりや物流の改革など外部環境の変化が好影響を及ぼし高成長を継続しております。また、企業間取引（BtoB）のEC化や個人間取引（CtoC）のEC化など、ECの領域自体も拡大しております。加えて、物販以外のサービス領域や、公共料金・税金などの公金、医療等の生活に密着した分野などにおける決済のオンライン化も着実に進行しております。一方、連結子会社であるGM0フィナンシャルゲート株式会社が立脚する対面市場においては、クレジットカード及びそれ以外の手段も含めた決済のキャッシュレス化推進が見込まれており、新たなビジネスチャンスが生まれると共に、当社グループの事業領域もますます拡大する見込みとなっております。

2021年9月期については、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の新たな拡大に伴う民間消費全般の低迷による影響を受ける可能性はあるものの、当社グループの事業自体は様々な業種の加盟店にサービスを提供しておりマクロ経済の影響を受けにくい特徴があることに加え、決済のオンライン化、キャッシュレス化の流れが後押しされる状況にもあることから、当社グループの売上収益に対する影響は現時点では軽微と判断しております。引き続き、大手及び成長性のある加盟店や金融機関等の開拓、大型案件の獲得に加え、DXプラットフォームのサービス拡大や次世代決済プラットフォーム「stera」など新規サービスの早期収益化により、全てのセグメントにおいて売上収益の拡大を見込んでおります。

2021年9月期の通期連結業績予想については、売上収益39,792百万円（前年同期比20.4%増）、営業利益12,985百万円（前年同期比25.0%増）、税引前利益12,426百万円（前年同期比13.1%増）、当期利益8,042百万円（前年同期比4.5%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益7,930百万円（前年同期比4.0%増）を見込んでおります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	①	95,830,807	105,708,743
営業債権及びその他の債権	②	10,782,296	9,397,816
前渡金		31,039,748	43,301,021
未収入金		23,585,142	24,880,292
棚卸資産		1,440,999	1,108,564
関係会社預け金	③	5,000,000	2,000,000
その他の金融資産		1,163,608	464,696
その他の流動資産		537,329	439,284
流動資産合計		169,379,933	187,300,419
非流動資産			
有形固定資産		3,714,793	4,049,911
のれん及び無形資産		4,854,253	5,462,897
持分法で会計処理されている投資		3,740,933	4,634,347
営業債権及びその他の債権	②	1,975,100	3,775,100
その他の金融資産		6,711,766	6,674,845
繰延税金資産		1,530,494	1,259,760
その他の非流動資産		115,346	133,422
非流動資産合計		22,642,689	25,990,284
資産合計		192,022,622	213,290,703

(単位：千円)

注記	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金	4,296,647	4,486,905
未払金	19,385,695	20,690,423
預り金	87,059,213	83,314,334
借入金	18,800,400	18,358,520
その他の金融負債	400,217	621,610
未払法人所得税等	2,491,098	1,512,510
引当金	352,812	328,465
その他の流動負債	3,383,652	3,187,606
流動負債合計	136,169,737	132,500,375
非流動負債		
社債	16,814,650	19,572,433
借入金	131,400	21,850
その他の金融負債	3,013,338	3,010,570
引当金	260,843	261,094
繰延税金負債	54,170	43,060
その他の非流動負債	2,124,966	2,097,664
非流動負債合計	22,399,369	25,006,674
負債合計	158,569,106	157,507,050
資本		
資本金	4,712,900	13,323,135
資本剰余金	5,675,561	15,176,704
利益剰余金	20,725,465	24,265,489
自己株式	△1,149,341	△1,151,796
その他の資本の構成要素	1,769,560	2,251,776
親会社の所有者に帰属する持分合計	31,734,145	53,865,309
非支配持分	1,719,369	1,918,343
資本合計	33,453,515	55,783,653
負債及び資本合計	192,022,622	213,290,703

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
継続事業			
売上収益		24,118,665	30,535,072
売上原価		△6,711,606	△9,586,807
売上総利益		17,407,058	20,948,264
その他の収益		114,692	165,685
販売費及び一般管理費		△9,610,624	△10,862,189
その他の費用		△132,647	△29,499
営業利益		7,778,478	10,222,260
金融収益		289,491	377,986
金融費用		△182,779	△146,510
持分法による投資損益 (△は損失)		528,794	72,344
税引前四半期利益		8,413,985	10,526,081
法人所得税費用		△2,424,742	△3,455,765
継続事業からの四半期利益		5,989,243	7,070,315
非継続事業			
非継続事業からの四半期利益 (△は損失)		△179,198	—
四半期利益		5,810,044	7,070,315
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		5,750,915	6,937,696
非支配持分		59,129	132,618
四半期利益		5,810,044	7,070,315
1株当たり四半期利益 (円)			
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失)			
継続事業		80.48	93.27
非継続事業		△2.32	—
合計		78.16	93.27
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失)			
継続事業		78.54	91.58
非継続事業		△2.25	—
合計		76.28	91.58

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	5,810,044	7,070,315
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	298,935	46,904
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	256,255	537,686
純損益に振り替えられることのない 項目合計	555,190	584,591
純損益に振り替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	△222,658	247,787
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	15,005	79,571
純損益に振り替えられることのある 項目合計	△207,653	327,358
税引後その他の包括利益	347,537	911,949
四半期包括利益	6,157,582	7,982,265
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	6,097,274	7,848,763
非支配持分	60,307	133,502
合計	6,157,582	7,982,265

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2019年10月1日時点の残高	4,712,900	5,847,480	15,884,444	△1,181,846	1,231,655	26,494,633	1,044,664	27,539,297
会計方針の変更による 累積的影響額	-	-	△97,243	-	-	△97,243	△38,971	△136,214
会計方針の変更を反映した 当期首残高	4,712,900	5,847,480	15,787,200	△1,181,846	1,231,655	26,397,389	1,005,692	27,403,082
四半期利益	-	-	5,750,915	-	-	5,750,915	59,129	5,810,044
その他の包括利益	-	-	-	-	346,358	346,358	1,178	347,537
四半期包括利益	-	-	5,750,915	-	346,358	6,097,274	60,307	6,157,582
自己株式の処分	-	33,085	-	32,504	-	65,590	-	65,590
配当金	-	-	△2,648,221	-	-	△2,648,221	-	△2,648,221
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	-	-	25,788	-	△25,788	-	-	-
株式報酬取引	-	109,953	-	-	△22	109,931	14,610	124,541
支配継続子会社に対する 持分変動	-	△9,528	-	-	-	△9,528	-	△9,528
連結子会社の売却による変動	-	△308,934	-	-	-	△308,934	168,522	△140,412
その他の増減	-	-	-	-	△313	△313	-	△313
所有者との取引額合計	-	△175,423	△2,622,433	32,504	△26,125	△2,791,477	183,132	△2,608,345
2020年6月30日時点の残高	4,712,900	5,672,056	18,915,683	△1,149,341	1,551,888	29,703,186	1,249,133	30,952,320

当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2020年10月1日時点の残高	4,712,900	5,675,561	20,725,465	△1,149,341	1,769,560	31,734,145	1,719,369	33,453,515
四半期利益	-	-	6,937,696	-	-	6,937,696	132,618	7,070,315
その他の包括利益	-	-	-	-	911,066	911,066	883	911,949
四半期包括利益	-	-	6,937,696	-	911,066	7,848,763	133,502	7,982,265
自己株式の取得	-	-	-	△2,454	-	△2,454	-	△2,454
配当金	-	-	△3,826,483	-	-	△3,826,483	-	△3,826,483
非支配株主への配当金	-	-	-	-	-	-	△63,671	△63,671
転換社債型新株予約権付社債 の発行	-	1,006,926	-	-	-	1,006,926	-	1,006,926
転換社債型新株予約権付社債 の転換	8,610,235	8,430,623	-	-	-	17,040,858	-	17,040,858
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	-	-	428,809	-	△428,809	-	-	-
株式報酬取引	-	77,669	-	-	△39	77,629	-	77,629
支配継続子会社に対する 持分変動	-	△26,969	-	-	-	△26,969	129,142	102,173
関連会社の支配継続子会社 に対する持分変動	-	12,893	-	-	-	12,893	-	12,893
所有者との取引額合計	8,610,235	9,501,143	△3,397,673	△2,454	△428,849	14,282,401	65,471	14,347,872
2021年6月30日時点の残高	13,323,135	15,176,704	24,265,489	△1,151,796	2,251,776	53,865,309	1,918,343	55,783,653

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	8,413,985	10,526,081
非継続事業からの税引前四半期利益 (△は損)	△158,338	—
減価償却費及び償却費	1,117,664	1,387,859
減損損失	115,793	—
子会社株式売却損益 (△は益)	172,466	—
金融収益及び金融費用 (△は益)	△85,335	△231,476
持分法による投資損益 (△は益)	△528,794	△72,344
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△278,124	332,434
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	△742,104	△233,425
前渡金の増減 (△は増加)	△3,121,099	△12,261,272
未収入金の増減 (△は増加)	△3,619,114	△1,292,995
買掛金の増減 (△は減少)	1,463,044	189,890
未払金の増減 (△は減少)	5,789,690	1,120,577
預り金の増減 (△は減少)	38,035,197	△3,750,323
その他の流動負債の増減 (△は減少)	286,570	△238,224
その他	139,863	187,035
小計	47,001,365	△4,336,183
利息及び配当金の受取額	30,973	17,547
利息の支払額	△124,444	△101,009
法人所得税の支払額	△3,018,886	△4,631,067
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,889,007	△9,050,713
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△380,580	△205,535
無形資産の取得による支出	△1,176,244	△1,198,103
投資有価証券の取得による支出	△892,432	△102,954
投資有価証券の売却による収入	—	489,922
投資事業組合からの分配による収入	340,691	136,132
関係会社預け金の預入による支出	—	△2,000,000
関係会社預け金の払戻による収入	—	5,000,000
その他の金融資産の取得による支出	△803,706	△158
その他の金融資産の売却による収入	116,887	700,555
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△108,566
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△968,256	—
その他	△63,398	△14,993
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,827,038	2,696,297

(単位：千円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		4,000,000	—
長期借入金の返済による支出		△1,067,200	△602,055
社債の発行による収入		—	21,057,055
自己株式の取得による支出		—	△2,454
配当金の支払額		△2,647,811	△3,825,963
非支配株主への配当金の支払額		—	△63,493
非支配持分からの払込による収入		—	122,413
その他		△256,856	△530,281
財務活動によるキャッシュ・フロー		28,131	16,155,221
現金及び現金同等物に係る換算差額		△64,465	77,129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		40,025,634	9,877,935
現金及び現金同等物の期首残高	①	52,013,447	95,830,807
現金及び現金同等物の四半期末残高	①	92,039,082	105,708,743

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

① 現金及び現金同等物

現金及び現金同等物の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
現金及び預金	94,880,807	82,778,743
関係会社預け金	950,000	22,930,000
合計	95,830,807	105,708,743

② 営業債権及びその他の債権

営業債権及びその他の債権の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
売掛金	5,187,311	5,989,684
営業貸付金	6,040,284	7,211,970
その他	1,628,262	84,673
貸倒引当金	△98,461	△113,412
合計	12,757,396	13,172,916
流動資産	10,782,296	9,397,816
非流動資産	1,975,100	3,775,100
合計	12,757,396	13,172,916

③ 関係会社預け金

関係会社預け金はGM0インターネットグループのCMSによる預け金です。